



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
 -思いやり・やる気・たくましさ-

若松中だより

千葉市立若松中学校
 校報
 第 28 号
 令和 2年 2月 4日

生徒・保護者・教職員 学校評価の結果について①

校長 古市 直彦

日頃より本校の学校教育に、ご理解・ご支援をいただきありがとうございます。11月にご協力いただいた学校評価の結果がまとまりましたので、2号に渡ってお知らせいたします。

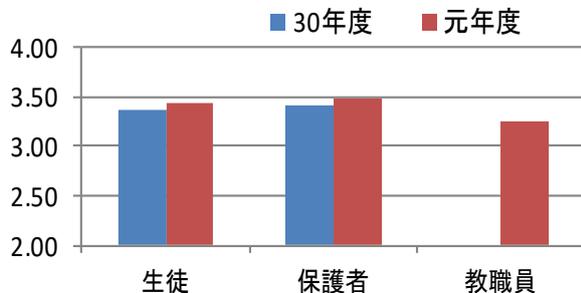
本年度の学校評価に際しましては、質問内容の見直しも行い、校訓である「愛校」「自学」「自立」のそれぞれに関する質問項目に改めました。また、教職員の自己評価に関しても、生徒・保護者の皆様への質問に合わせた内容に改めました。

以下に、昨年度との結果と比較して載せさせていただきますが、項目によっては、質問内容の変更により、昨年度のデータがないものもございますのでご了承ください。尚、表中の数値は、1～4の4段階で評価していただいたものの平均値を示したもの(4点満点)となります。

< 校訓の「愛校」に関して >

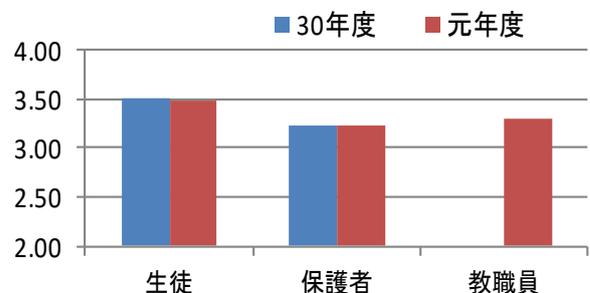
質問1 学校に来るのが楽しい

	平成30年度	令和元年度
生徒	3.37	3.44
保護者	3.40	3.47
教職員	---	3.25



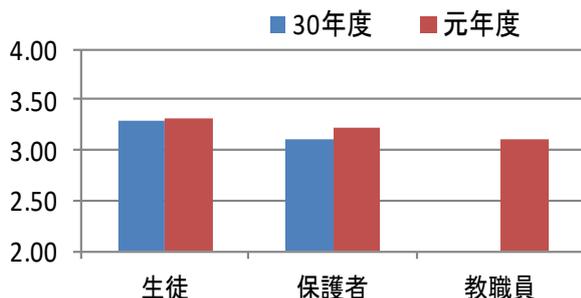
質問9 学校は生徒のことを大切にしている

	平成30年度	令和元年度
生徒	3.50	3.48
保護者	3.23	3.23
教職員	---	3.30



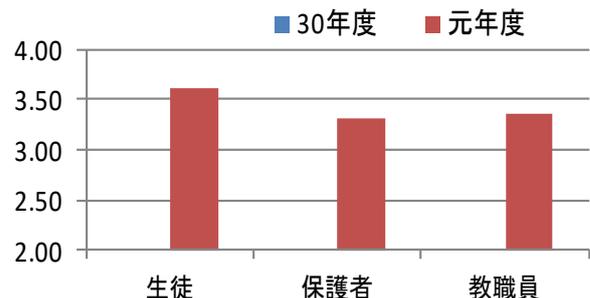
質問10 学校は落ち着いて生活や学習ができる環境整備ができている

	平成30年度	令和元年度
生徒	3.29	3.32
保護者	3.10	3.22
教職員	---	3.10



質問12 学校は学校の様子をわかりやすく発信している

	平成30年度	令和元年度
生徒	---	3.61
保護者	---	3.32
教職員	---	3.35



昨年度、この内容での質問がなかった質問12以外で、多くの項目におきまして、昨年度と同程度または上回る数値をいただくことができましたが、質問9の「学校は生徒のことを大切にしている」に関する質問では、生徒の数値が若干下がっています。学年差もあり、高い数値での変位ではありませんが、次年度に向けての課題の一つだと考えています。

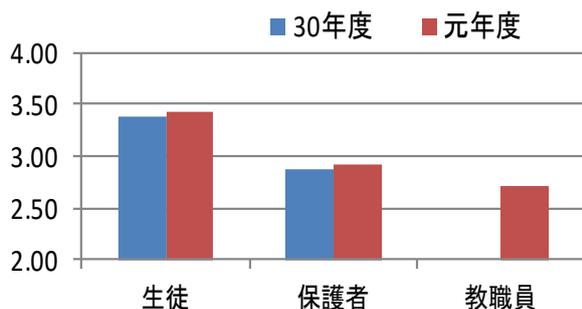
また、一部の保護者の方から、トイレの改修や通学路の不安に関するご意見をいただきました。トイレの改修に関しましては、かねてより市教委の方に要望を出しておりましたところ、次年度の6月以降の予定で、すべてのトイレを改修していただけることになりました。もしばらくは、ご不便をおかけすることになりますが、よろしくお願いいたします。通学路に関しては、学校の管理外のことになりますが、学校として、関係機関に対応のお願いを継続していきたいと思っています。今後も、楽しく、安心して通える学校作りに向けて、学校全体で取り組んでいきたいと思っています。

質問12に関しましては、本年度より新たに加えた項目ですが、生徒・保護者の皆様には、本校の活動についておおよそご理解いただけていることがわかりました。

< 校訓の「自学」に関して >

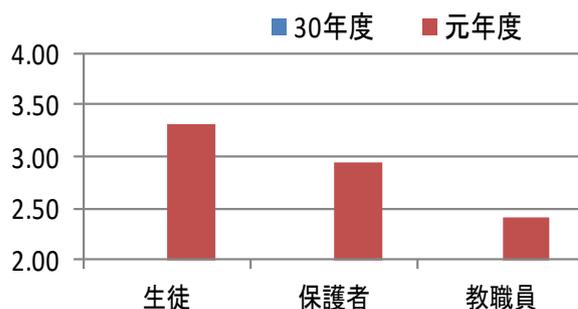
質問3 授業に意欲的に取り組んでいる

	平成30年度	令和元年度
生徒	3.38	3.42
保護者	2.88	2.92
教職員	---	2.70



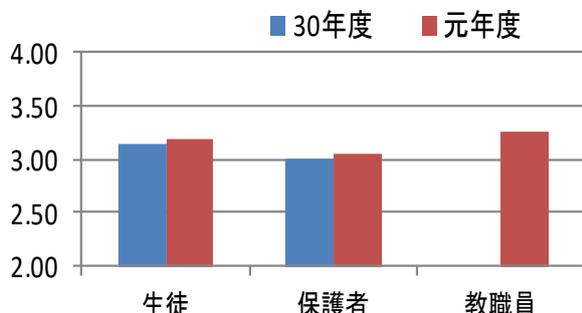
質問4 学校での学習は身につけている

	平成30年度	令和元年度
生徒	---	3.30
保護者	---	2.95
教職員	---	2.40



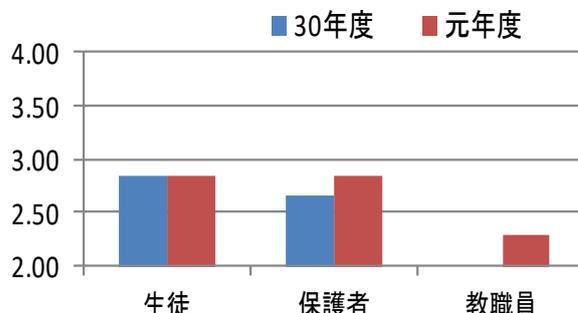
質問5 学校の授業はわかりやすい

	平成30年度	令和元年度
生徒	3.15	3.19
保護者	3.00	3.04
教職員	---	3.25



質問6 普段、家で復習や予習をしている

	平成30年度	令和元年度
生徒	2.85	2.85
保護者	2.65	2.85
教職員	---	2.30



どの項目におきまして、昨年度と同程度または上回る数値をいただくことができましたが、全体的にこの数値が低い点に課題を感じています。特に、質問3の「授業に意欲的に取り組んでいる」に対する教職員の回答値が低く、「意欲を育てることができなかった」という自省の気持ちも表れています。保護者の方から「学力向上につながるようなことをやってほしい」というご意見もいただいております。家庭学習の進め方指導も含め、今後、取り組んでいきたいと思っています。(次号に続きます)